

令和8年度 輪島中学校 学校経営ビジョン

◆ 学校教育目標

「自ら意欲的に学び、心身ともにたくましい生徒の育成」

【自立】 自ら考え判断し行動できる生徒

【共生】 互いを認め合い高め合う生徒

【挑戦】 目標の達成のために全力で取り組む生徒

◆ 学校経営目標

認め合い 自分自身を大切にし、互いを認め合う学校づくり

学び合い 一人一人が活躍し、学び合いながら確かな学力が身に付く授業づくり

鍛え合い 自分の命を守り、挑戦する心と体を鍛え合う生活づくり

◆ めざす生徒像

- ・意欲的に学びに向かい、確かな学力を身に付けた生徒
- ・互いに認め合い、高め合うことのできる心豊かな生徒
- ・主体的、創造的に行動し、活力あふれる生徒

◆ 学校スローガン（生徒と教師の共通目標）

自立・共生・挑戦

凡事徹底 「時を守り」 ・ 「場を清め」 ・ 「礼を正す」

◆ 輪島中学校教職員としての心構え 生徒を「鍛え抜き」「励まし抜き」「守り抜く」

1 Vitality：元気・活力

教育に情熱を持ち、いつも明るく元気な姿で子ども達に接する。

2 Specialty：専門性

常に教師としての専門性を磨き続け、時代の変化に対応できるようにする。

3 Originality：創造

創造性あふれる魅力ある教育活動を提供する。

4 Personality：個性

個性豊かな魅力のある教師集団を目指す。

◆ 重点事項

創造的復興教育の推進

輪島市の復興について考え、よりよいまちづくりに参画する

- ◇ 「つなぐプロジェクト」を実践し、「いのちの輪」「みんなの輪」「あんしんの輪」の取組を推進する。
- ◇ 災害の経験を記録し、伝承することで、一人一人の防災意識を高めるとともに、地域の復興について考え、発信することで、よりよいまちづくりに積極的に参画する。

授業づくり

授業は教師のプライドである

- ◇ 子ども達に身に付けさせたい資質、能力を再確認し、本校生徒の課題を明確にすることで、具体的な手立てを準備し実践する。
- ◇ ICT機器の活用を通して個に応じた指導の工夫を行い、「分かる授業」・「楽しい授業」の実践に努めることで、自ら学ぶ意欲を育て、基礎的・基本的内容の定着を図る。
- ◇ 習得した知識や技能を活用させ、思考力・判断力・表現力を向上させる授業を展開する。

集団づくり

よき集団の中で、よき個が育つ

- ◇ 学級で、「だれ一人として嫌な思いをしない、させない」という人権感覚を子ども達に身に付けさせる。
- ◇ 個が生きる集団づくりを目標とし、特別活動や総合的な学習の時間を充実させ、活動の中で集団と個を鍛える。
- ◇ 子ども達が学習や生活場面で「補い合う」「認め合う」といった教育活動を意図的に取り入れ、相互の関わり合いを深める。また、積極的に褒める。
- ◇ 被災による影響や環境の変化によるストレス、いじめ・不登校の未然防止など、計画的な教育相談を行い、生徒の「こころのケア」に努める。

働き方改革の推進

生徒と向き合う時間と自分の成長のための時間を確保

- ◇ 外部人材による業務支援を積極的に活用し、業務の平準化を図る。
 - ・ スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員を計画的に活用する。
- ◇ 休日は、家族や自分のために過ごし、新しい見聞を広げる。
 - ・ 部活動で月に1回は土日の連休、平日に2日の休みを設ける。